

# 2020年度 鶴見大学・鶴見大学短期大学部 IR 活動報告要旨

2021.9  
IR 推進課 i

## 1. はじめに

大学経営力ならびに教育力強化のために Institutional Research (以下, IR) の重要性が増している。

鶴見大学・鶴見大学短期大学部においては, IR を導入するにあたり 3つのステージ「可視化」「共有化」「運用/改善」に分けて活動することとした。ステージ毎に目標(あるべき姿)を定義し, PDCA サイクルを実行しながら IR 活動を進めている(図1)。

平成27年度は「可視化」から「共有化」のステージに移行し, 平成28年度より「運用/改善」のステージにいる。

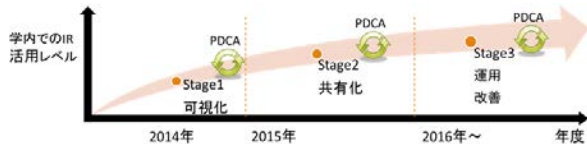


図1 鶴見大学・鶴見大学短期大学部 IR 活動のステージ

## 2. 全学共通アンケートの実施

平成27年度より開始した全学共通アンケート「学修・学生生活に関する調査」について, 2019年度は前期の1回のみ実施した。平成27年度において年2回実施していたが, 平成28年度より4月の年1回としている。報告書を作成し, 教職員グループウェアおよび鶴見大学ポータル(学生向け)に掲載した。なお, これらのアンケートは全学教学マネジメント会議(旧:全学教学マネジメント改革プロジェクト会議)の承認により実施されている。

### 2.1 全学共通アンケート後の実施結果

2020年度4月実施分については, 全学平均86%(前年度71%)の回答率であった。新型コロナウイルス感染症対応により休講, オリエンテーション中止等もあり, アンケートを周知する機会がないことが危惧されたが, 遠隔授業開始とともに学生が学習支援システム manaba を活用するようになり, 最終的には例年以上の回答率となった。一方, 学生の満足度は, 73%から57%に低下した。

2018年度より, 全ての教職員が詳しい報告書を読み込むのは難しいことから, 簡易版(A4サイズ1枚)による報告を行った。

そのほか, 学生公開用版において学生に自己の回答履歴と学部平均を比較して振り返りを促すこととした。

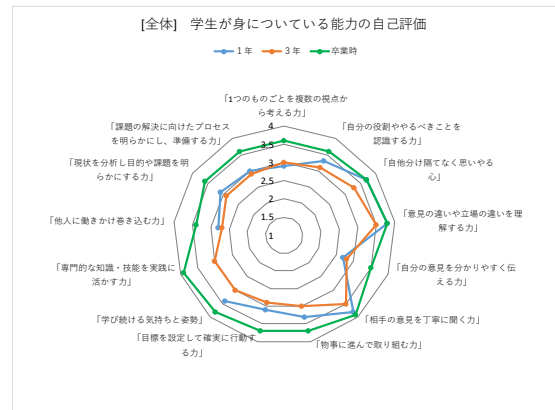


図2 到達度自己評価

「先輩に勧めたいポイント」「大学に足りないもの」についてテキスト分析(図3)を行ったところ, 駅からのアクセスのよさ, 面倒見の良さ, 資格取得等に分散した。またコロナ禍で遠隔授業や情報伝達に関する意見が集中した。

今年度も, 学生からの指摘の多い事項について「大学からの回答」を掲示した。

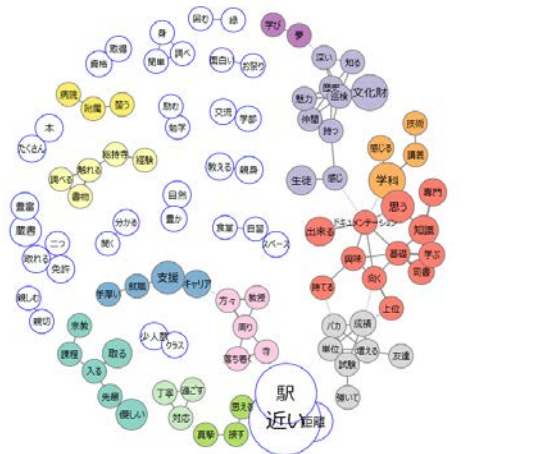


図3 先輩に勧めたいポイントのつながり

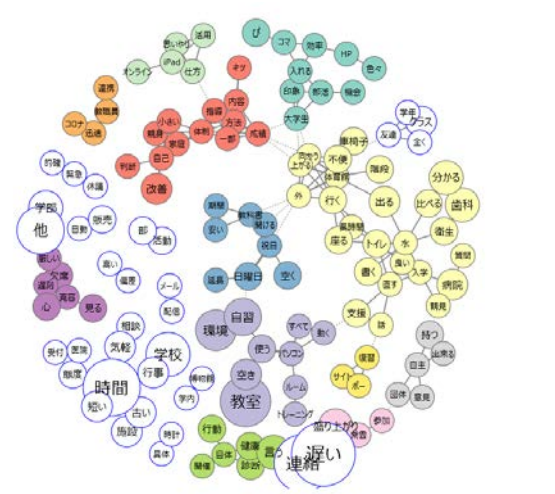


図4 大学に足りないもののつながり

i 平成28年度 IR プロジェクト部会 所管。IR 推進事務局から名称変更。

## 2.2 全学共通アンケート後の追跡調査

(詳細省略)

## 2.3 卒業時アンケート調査の実施

学修成果を問うことを目的として、平成 28 年度より卒業時アンケートを行っている。本アンケートは、終了式・卒業式後の修了証書授与式会場にて一斉に紙で実施した。

平成 29 年度改訂のディプロマ・ポリシーと、学修成果に関する設問をクロス集計し平均値を求めたところ 2.94~4.29 (前年度 3.52~3.94) となり、前年度と比較して上昇した分野、下降した分野でばらつきが見られた。

文学部、保育科、及び研究科は満足度が高く、学修成果に対する自己評価も高めに出る傾向にある。このため、ディプロマポリシーに対する達成度も高めている。

今年度も Web 対応としたため、卒業式当日実施と比較して回収率が 25% (前年度 15%) と芳しくなかった。

卒業時アンケート調査 平均点	① 日本文学科	② 英語・米文学科	③ 文化財学科	④ ショッピング学科	⑤ 歯学科	⑥ 保育科	⑦ 歯衛生科	⑧ 専攻科 保育専攻	⑨ 歯学研究科
0.3 本学卒業にあたり、あなたはどの程度満足していますか。	3.69	3.78	3.92	3.50	2.44	3.88	3.56	3.00	5.00
0.4 本学にはさまざまなことに満足していますか。	4.03	4.06	3.45	3.81	2.58	4.25	3.88	3.00	3.00
① 難かな学修経験がある。	3.93	3.64	3.38	3.38	2.22	4.13	3.04	3.50	4.00
② 広範な知識・教養が身に付けられる授業が多い。	4.12	4.23	3.55	3.50	2.22	3.98	3.39	4.00	4.00
③ 専門的な知識・技能を身に付けられる授業が多い。	4.24	3.93	4.42	4.25	3.44	4.50	3.96	3.50	4.00
④ 少人数・ゼミ形式の授業が充実している。	3.66	4.29	4.00	3.89	2.33	3.31	2.80	3.50	4.00
⑤ 授業で IT/IT 関連のスキルが身につく授業が多い。	3.91	4.07	3.92	3.06	2.56	4.08	3.44	3.00	4.00
⑥ IT/IT 関連のスキルが身につく授業が多い。	4.28	4.50	3.04	3.89	1.89	4.31	3.80	4.00	3.00
⑦ 調理活動が充実している。	3.24	3.07	3.17	2.94	2.33	3.60	2.88	3.00	3.00
⑧ キャンパスの施設・設備が充実している。	3.97	3.64	3.04	2.81	2.44	4.15	3.36	3.50	3.00
⑨ 優れた先生・熱心な先生に出会える。	4.38	4.14	3.83	3.88	3.11	4.13	3.48	3.00	5.00
⑩ 山・水・空の気象・友人・後輩に出会える。	3.93	3.78	3.42	3.56	3.22	3.81	3.32	2.00	3.00
⑪ オフスツアが有り、非常に面白い。	3.59	3.78	3.50	3.31	2.44	3.98	3.04	3.00	3.00
0.5 入学時と比べて身についた力に満足していますか。	4.28	4.28	3.88	3.89	2.56	4.19	3.72	4.50	4.00
① 1 つのものを複数の視点から考える力。	4.00	4.07	3.67	3.75	3.33	4.23	3.64	4.50	4.00
② 自分の得意分野を伸ばす力。	4.34	4.29	3.71	3.44	3.22	4.35	3.56	3.50	4.00
③ 自信を持って行動できる力。	4.48	4.21	3.83	3.84	3.22	4.27	3.52	3.50	4.00
④ 自身の強みや立場の深い理解する力。	4.10	3.88	3.38	3.56	3.22	3.90	3.32	3.50	3.00
⑤ 自分の意見を分かりやすく伝える力。	4.34	4.28	4.00	3.63	3.44	4.35	3.64	3.50	3.00
⑥ 相手の意見を丁寧に聞く力。	4.03	4.36	3.58	3.94	3.22	4.25	3.80	4.00	4.00
⑦ 目標を設定して確実に行動する力。	4.14	4.00	3.42	3.50	3.22	4.17	3.88	4.00	4.00
⑧ 学び続ける姿勢・姿勢。	4.17	4.21	3.86	3.81	3.56	4.21	3.92	3.50	4.00
⑨ 専門的な知識・技能を実践に活かす力。	4.14	3.93	3.54	3.56	3.44	4.31	3.76	3.50	3.00
⑩ 他人に働きかけを促す力。	3.69	3.64	3.29	3.38	3.22	3.83	3.20	3.50	3.00
⑪ 現状を分析し目的や課題を明らかにする力。	4.24	3.93	3.63	3.63	3.22	4.04	3.76	3.50	4.00
⑫ 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力。	4.14	4.07	3.75	3.56	3.44	4.10	3.84	3.50	3.00

図 5 アンケートの個別回答の学科別平均値

文学部DP	歯学部DP	保育科DP	歯衛生科DP
1 広い世界認識に到達することができる。	4.03	2.94	4.21
0.28	-0.57	0.27	0.16
2 深い自己認識と他者への思いやりの心を持つことができる。	3.98	3.22	4.27
0.21	-0.28	0.21	-0.07
3 自立した社会人となり、積極的に生涯学習に取り組むことができる。	3.93	3.22	4.21
0.27	-0.33	0.27	0.23
4 社会の多様な問題解決に寄与できる。	3.79	3.50	4.29
0.12	-0.10	0.31	0.08

図 6 各学部 (短期大学部は学科) ディプロマ・ポリシーに対する達成度

## 2.4 遠隔授業に係るアンケート調査の実施

2020 年 4 月実施の全学共通アンケート (2 章 1 節) の学生の状況を踏まえて、4 月下旬に「遠隔授業の実施に係る学生の情報通信機器保有状況調査」、11 月~12 月にかけて「遠隔授業に関する調査 (学生・教員)」を実施した。

「遠隔授業の実施に係る学生の情報通信機器保有状況調査」はスマートフォンで回答できる全 4 問の簡易なアンケートとし、学習支援システム manaba のオプションである respon で実施した。10 日間実施した結果、回答率は 84% であった。学生のスマートフォン普及率は 84% であるのに対し、パソコン保有率は 35% と、遠隔授業を行うための環境が十分でないといえた。特に短期大学部においては、パソコンの保有率は 2 割に満たず、各自パソコン等を準備していただくことが必要とされた。学生の状況を踏まえ、学修環境整備支援金として 10 万円の交付が決定された。

「遠隔授業の実施に係る情報通信機器保有状況調査」の結果、回答率は 84% であった。学生のスマートフォン普及率は 84% であるのに対し、パソコン保有率は 35% と、遠隔授業を行うための環境が十分でないといえた。特に短期大学部においては、パソコンの保有率は 2 割に満たず、各自パソコン等を準備していただくことが必要とされた。学生の状況を踏まえ、学修環境整備支援金として 10 万円の交付が決定された。

学部	文	歯	保	衛	計
スマートフォン保有率	84%	84%	84%	84%	84%
パソコン保有率	35%	35%	35%	35%	35%

図 7 学生の情報通信機器保有状況調査結果

「遠隔授業に関する調査 (学生・教員)」については、学生から寄せられた様々な意見から実態調査が必要であると全学教学マネジメント会議にて実施決定され、2020 年 11 月 18 日~12 月 3 日の 2 週間にわたって実施された。

学生 (院生含む) の回答率は 55%、教員 (非常勤含む) の回答率は 36% であった。

遠隔授業の満足度については、「満足している」44%、「不満がある」25% であった。

回答	番号	全	文	歯	保	衛
① 大変満足している	191	27.7	51	8.4	123	29.0
② 概ね満足している	408	58.1	240	38.0	108	26.4
③ どちらともいえない	444	63.5	234	37.2	47	11.4
④ あまり満足していない	197	28.1	120	18.6	20	4.9
⑤ 満足していない	175	25.1	142	22.6	15	3.6
⑥ 回答しない	30	4.3	14	2.2	8	1.9
有効回答数	1505	154.0	801	55.6	323	35.3
回答対象外	0	0.0	0	0.0	0	0.0
(未回答)	1235	175.1	633	44.1	592	64.7
合計	2740	100.0	1434	100.0	913	100.0



図 8 遠隔授業の満足度

課題が多いと回答した学生が 72% であり、授業外学修時間も 1 日当たり 2~3 時間が 29% と最も多く、対面授業の 3 倍程度の学習量となっていた。学部毎に満足度の違いが見

られたが、原則 Zoom で双方向授業とした歯学部と、同時双方向・オンデマンド型等多様な形式を実施した文学部・短期大学部との授業形態の違いによる影響もあった。調査結果を学生に返却し、また教員に共有して、学生の過度な負担を避けるよう課題の量の調整などが求められた。

### 3. 外部からの依頼調査の対応

#### 3.1 教育の質に係る客観的指標調査対応の実施

IR 情報の公開として、ア) 学修時間・学修実態、イ) 授業評価結果、ウ) 学修成果(単位取得状況、学位取得状況、学内試験結果)、エ) 資格試験や国家試験の合格率、オ) 就職率や大学院進学率を整理し、鶴見大学ホームページにて対外的に公表した。



#### 3.2 高等教育無償化対応の実施

総務部総務課、教務事務部、学生支援事務部学生支援課と協力して、高等教育無償化対応が可能ないようにシラバスフォーマット、実務経験のある教員の担当する授業科目一覧、学生の学修成果の把握、GPA 分布下位 1/4 の把握、経営状況の把握、外部理事等の調査、機関要件確認申請書の記載内容確認等を行った。

#### 3.3 IR 履修証明プログラムの外部講師(ゲスト)

2020 年度は、山形大学 IR 履修証明プログラムの授業において、外部講師を 2 回務めた。演目は「中規模私立大学における IR 事例紹介」(1 時間)であった。

### 4. 前年度からの継続調査および追跡調査

大学内の重要課題について、現状を把握し問題点を明らかにする。これらは状況に応じて継続的に実施する。

#### 4.1 退学者調査・卒業者予測・成績分析

(詳細省略)

#### 4.2 入試の妥当性検証に関する資料提供

(詳細省略)

以上